

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2019年5月4日～2019年5月10日の推移】

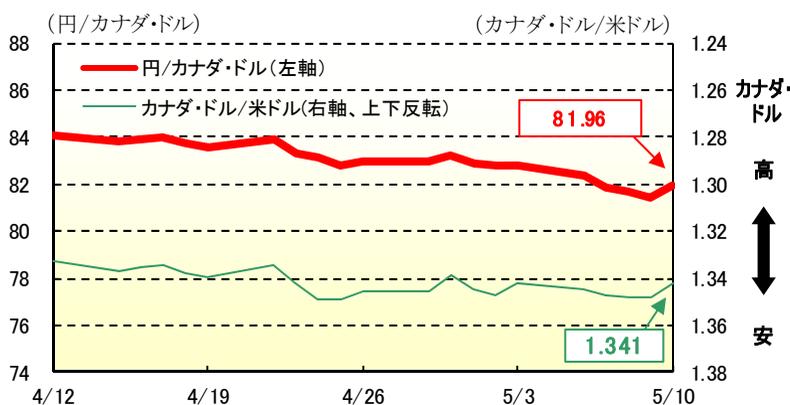
### 【1】先週の回顧

カナダ・ドルは、対円で下落しました。また、カナダ5年国債利回りはおおむね横ばいになりました。

トランプ大統領が中国からの輸入品に対して、関税を引き上げたことを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まったため、カナダ・ドル円は下落しました。カナダの金利は、上述の要因で低下したものの、雇用統計が良好な結果になったことから低下幅を縮める展開になりました。

雇用統計に関しては、雇用者数の増減は前月比で市場予想を大幅に上回る+10.65万人の増加となり、過去最高値を記録しています。失業率、賃金上昇率も市場予想よりも良好な数値となったため、労働市場の底堅さが意識される結果になりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2019年4月12日～2019年5月10日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

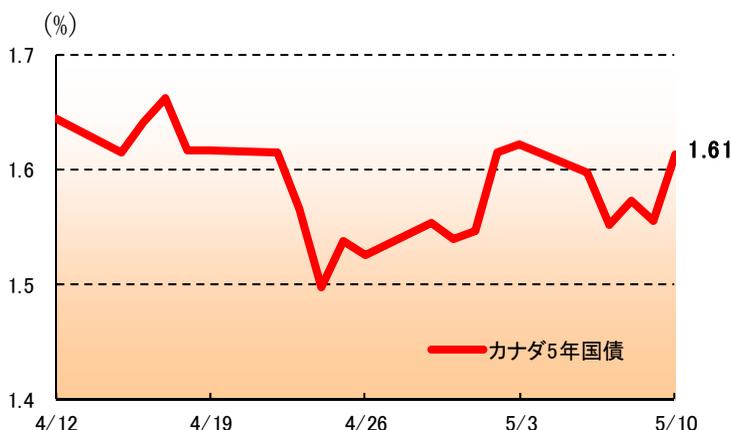
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 【2】今週の見通し

今週、カナダではCPI(消費者物価指数)の発表が予定されています。市場予想を上回る結果となれば、カナダの金利、通貨の上昇圧力の強まりが期待されます。

足元では、トランプ大統領の中国からの輸入品への関税引上げに対し、中国も米国からの輸入品への関税引上げという報復措置をとりました。そのため、米中貿易戦争の泥沼化が市場では懸念されているため、カナダの金利、通貨の上値が重い展開になることが予想されます。

【カナダ 金利推移】 (2019年4月12日～2019年5月10日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>